

日時 令和6年1月19日
15時45分～

令和5年度 大阪府立日根野高等学校第3回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦
記録 教諭 吉田壮乃子

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）5名

| | | |
|----------------|------------|-------------|
| 泉佐野泉南医師会看護専門学校 | 副学校長 | 西田 好江 様 |
| ひねのこども園 | 園長 | 神藤 吉伸 様 |
| 泉佐野市立日根野中学校 | 校長 | 武田 博之 様（欠席） |
| イオンモール日根野 | ゼネラルマネージャー | 横倉 実可 様 |
| 大阪府立日根野高等学校 | 後援会役員 | 小伊勢 智子 様 |
| 大阪府立日根野高等学校 | PTA会長 | 畠中 清匡 様 |

2) 事務局員（出席者）10名

| | |
|------------|-------|
| 校長 | 山本 好男 |
| 教頭 | 川瀬 治彦 |
| 事務長 | 松元 敏行 |
| 首席 | 栗原 重彦 |
| 首席 | 矢萩 友之 |
| 教諭（教務部長） | 大土 渡 |
| 教諭（生徒指導部長） | 木藤 耕平 |
| 教諭（保健総務部長） | 武田 吉恵 |
| 教諭（進路指導部長） | 堺 花野 |
| 教諭 | 吉田壮乃子 |

3. 協議案件

1) 学校教育自己診断結果について

- ・昨年度からは、生徒評価で全体的に下降をしているが、昨年度が異常に高かったためであり、長期的に見れば改善傾向で概ね問題はない。
- ・保護者と教職員評価では項目により評価が相半ばをしている。保護者では授業の評価が、教職員ではキャリア教育の評価が下がっている、次年度に向けて検討をしたい。
- ・全体的には良好な状況と理解をしている。登校満足度、入学満足度の下降は次年度の課題と考えている。

2) 令和5年度学校評価について

- ・学校教育自己診断以外の指標では、授業アンケートの結果が大きく向上をしている。また、働き方改革が大きく進み、時間外在校時間が大幅に減少をしている。
- ・一方、医療看護系の進学者は減少し、遅刻者数は、様々な取り組みを行ったが、結果として大きく増加をした。また、クラブの加入率も1年生を中心に取り組みを行ったが、減少に歯止めがかからない。次年度へ向けて検討をしていきたい。また、コロナ禍の影響か、登校が難しい生徒が大幅に増加をしている。転・退学者も目標を超えて出そうな状況である。

3) 令和6年度学校経営計画について

- ・今年度の結果を受けて、次年度の目標を次のようにした。
- ・医療看護系の進学者の中期的目標を20%とし、次年度の目標を48人とした
- ・12月までの遅刻者数の中期的目標を3000人以下とし、次年度の目標を4000人以下とした
- ・部活動加入率の中期的目標を60%以上とし、次年度の目標を50%以上とした
- ・時間外在校時間の平均の中期的目標を24時間以内とし、次年度の目標を25時間以内とした

4) 質疑応答

<委員>時間外在校時間が大幅に減少とのことだが、何か改革をしたのか

<回答>グーグルのアプリを活用して、校務の電子化を進め時間を短縮した。また、会議の時間も大幅に削減した

<回答>ファイルも添付できるので、印刷、配る手間や、周知の手間が省ける。

<回答>休んでも確認できるし、会議前に確認することもできる

<質問>企業では、働き方改革に向けて何か取り組みをしているか

<委員>企業では、働き方改革に向けてアンケートを取り、特定の店舗で試験的に対策を講じて、その結果を検証している

<委員>結果として、家庭に仕事を持ち帰っているということはないのか

<回答>いつでも情報を見れてしまうので、つい作業をするということはあるが、持ち帰りの仕事が増えているということはない

<委員>看護医療系の志願者が減っているとのことだが、なにか原因があるのか

<回答>他校に同様のコースができたことや、全体として4年制大学志望者が増えていることが可能性としてある。しかし、中学生対象の説明会では、依然として看護医療系の問い合わせが多い

<委員>遅刻者に対して、詳しく理由を確認することはしているのか

<回答>二学期から、「遅刻理由」と「次に向けてどうするのか」について、遅刻者全員に書かせるようにした。コロナ禍前に比べて、軽い体調不良での遅刻が大幅に増えていると感じる。この時期の経験から、学校を休む・遅刻することへのハードルが下がっている可能性があるのでは。遅刻に関しては、絶対にいけないものとして、さらなる対策を検討中である

5) 進路状況について

- ・233名中200名がすでに合格をもらっている状況である
- ・約40名が今も志望校に向けて頑張っている
- ・専門学校志望の生徒はほとんどが年内に合格をしている
- ・今年度、共通テスト受験者26名であり、昨年の1.6倍となっている。学年の指導の結果であり、数名は共通テスト利用での合格の可能性があると考えている
- ・興味のある学部系統は3学年とも、看護医療系・福祉系が最も多い
- ・2番目に多い系統は、学年で違いがあり、3年生は教育、2年生は理工・情報、1年生は教育となっており、3番目に多い系統は、2・3年生で法学経済社会系となっている
- ・偏差値や身近さなど、深く考えずに選んでいる生徒が例年多い
- ・受験への意欲向上のため、学んでいきたい分野について考えさせる機会を設けたい
- ・受験を始める時期に関するアンケートでは、2年生で2年生の2学期からと答える回答が昨年より大幅ダウンしている

<委員>入学したばかりの時期に進路を考えさせる時間はあるのか

<回答>総合的な探究の時間で、進路に向けていつから準備が必要かなどの指導をしている

<委員>焦ったりしんどくなる生徒はいるのか

<回答>毎年、もっと早くから勉強すべきだったと悩んでいる生徒はたくさんいる

<委員>生徒の意識向上のため保護者の協力を仰ぐのはどうか。進路説明会参加率低い

<委員>英語に力を入れていることはあるか

<回答>1・2年生では、例年よりもレベルの高い教科書を使用している

<委員>合格した生徒に、この時期看護学校に来てもらって、有益な活動をしてもらっている

<委員>次年度もまた、こども園での実習もしていただきたい

6) 令和5年度学校評価及び令和6年度学校経営計画について

- ・本校の提示した評価及び計画に対して、委員の承認をいただいた

次年度の開催予定

- | | | |
|-----|-----------|--------|
| 第1回 | 5月24日(金) | 13:30~ |
| 第2回 | 10月18日(金) | 14:30~ |
| 第3回 | 1月17日(金) | 15:45~ |